

平成 26 年度 事業計画書

(平成 26 年 12 月 1 日 から 平成 27 年 11 月 30 日 まで)

公益財団法人ノエビアグリーン財団

1. 助成事業

児童、青少年の健全育成の向上・スポーツの発展、普及に寄与するため、「助成金交付規定」に沿って助成事業を行います。

■助成対象

- ・児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している団体。
- ・将来、世界大会やオリンピック出場を目指すアマチュアスポーツ選手（18歳以下）。

■募集方法

当財団ホームページ上で告知

■助成対象期間

1年間

■助成金額

1件あたり上限100万円

活動の内容によって金額を決定

<予定件数>

【団体】

4件×100万円＝400万円

【個人】

4名×100万円＝400万円

■対象となる事業費

原則として交付対象事業に必要な全ての経費が対象（協賛金的なものは対象外）

直接活動費のみ対象（主に、大会・体験活動運営費、講師・審判等への謝礼、スポーツ用具など必要備品費、遠征費等）

■申請期限・審査期間

※12月に受付開始予定

- ・申請期限：12月受付開始、2月末締め切り
- ・審査期間：3月～4月（2ヶ月間）
- ・選考結果通知：4月
- ・助成金交付：5月

■申請手続

申請書類を当財団ホームページからダウンロードして郵送

■審査方法・結果通知の方法

選考結果は、当財団ホームページでの採択者の発表（4月中旬）をもって審査結果の通知と代えさせていただきます。また採択者には、メールにて助成金交付決定のお知らせと併せて、今後の手続きについてご連絡する。

■報告方法

助成金交付後、半年に1回を目安に、口頭（電話）にて活動の進捗を報告。必要に応じてイベントや大会、練習など、当財団の事務局員が現地を訪問し、見学。

助成事業完了の際は領収書など必要書類を添付の上、助成事業完了報告書（指定書式）により報告。

■助成した対象者の内容の公表方法

当財団ホームページ上で公表

2. 環境事業

1) 環境教室の実施

自然体験などの実践を通じて、自然環境の保全と改善について子供たちとともに考え、意識向上を図ることを目的として、環境教室を実施します。

■日程

年1回（10月～11月の土日・祝日のいずれか）

■対象

小学校3～6年生のお子さまとその親御さま20組40名

■費用

参加無料

■募集方法

- ①当財団ホームページにてお知らせ
- ②「環境教室」開催にあたっての企画協力を依頼している公益財団法人 日本自然保護協会さまの会報誌にてイベント開催告知
- ③WEBサイト「いこーよ」にてイベントPR広告を掲載

いこーよ・・・アクトインディ(株)さまが運営する日本最大級の親子のためのおでかけ情報サイト
<http://iko-yo.net/>

④チラシを開催地区の公共施設などに設置

2) 六甲山の森づくり事業

低木層の伐採やつる性植物の除去や植樹などの森の管理業務を行うことで、土砂災害を防ぐ役割の樹林帯を守り育てることを目的として、六甲山の森づくり事業を行います。

《年間計画》

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所が行っている「六甲山系グリーンベルト整備事業」に参加し、その実施要領に沿った活動計画に基づき活動を行います。

3月下旬～4月初旬、6月中旬～6月下旬、9月中旬～9月下旬、11月中旬～11月下旬
計4回を予定。

毎回ボランティアの参加者を募ります。

| 活動予定回数 | 項目 | 内容 |
|--------|--------|--|
| 第1回 | 活動範囲 | |
| | 活動時期 | 3月下旬～4月:初旬 |
| | 活動内容 | 1. 既存伐採木の整理 2. つる植物等の除去 3. 常緑樹（ヒサカキ等）の伐採 |
| | 参加予定人数 | 約 15人 |
| 第2回 | 活動範囲 | |
| | 活動時期 | 6月中旬～6月下旬 |
| | 活動内容 | 1. 既存伐採木の整理 2. つる植物等の除去 3. 常緑樹（ヒサカキ等）の伐採 |
| | 参加予定人数 | 約 15人 |
| 第3回 | 活動範囲 | |
| | 活動時期 | 9月中旬～9月下旬 |
| | 活動内容 | 1. 既伐採木の整理 2. つる植物等の除去 3. 常緑樹（ヒサカキ等）の伐採 |
| | 参加予定人数 | 約 15人 |
| 第4回 | 活動範囲 | |
| | 活動時期 | 11月中旬～ 11月下旬 |
| | 活動内容 | 1. 既伐採木の整理 2. つる草植物等の除去 3. 常緑樹（ヒサカキ等）の伐採 |
| | 参加予定人数 | 約 15人 |

3. 広報活動

当財団の知名度を高めるため、ホームページの充実、スポーツ大会のプログラムへの掲載など財団の広報活動を行います。